

# ミニディスクロージャー誌

平成23年3月期・営業の中間ご報告

INTERIM MINI DISCLOSURE 2010

HOKURIKU HOKKAIDO Tokyo・Nagoya・Osaka



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ<sup>o</sup>  
Hokuhoku Financial Group, Inc.

CONTENTS

ごあいさつ	02	トピックス (北陸銀行)	12	財務諸表 (北陸銀行単体)	19
業績ハイライト	03	地域とともに (北海道銀行)	13	財務諸表 (北海道銀行単体)	20
グループの概要	07	トピックス (北海道銀行)	16	株式のご案内	21
地域とのかかわり	08	財務諸表 (ほくほくフィナンシャルグループ単体)	17	ホームページのご案内	22
地域とともに (北陸銀行)	09	財務諸表 (ほくほくフィナンシャルグループ連結)	18		



もっと。

左上:ほくぎんアートギャラリー (北陸銀行犀川支店)

右上:道銀フォレスト運動で植樹している苗木

左下:北陸銀行の駐在員事務所があるロンドンの街なみ

右下:第24回道銀ライラックコンサート

## ごあいさつ

皆さまには、日ごろより当社をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。  
 ございます。

ここに、ほくほくフィナンシャルグループの「ミニディスクロージャー誌(平成23年3月期・営業の中間ご報告)」をお届けいたします。

本誌では、当社の平成22年度中間期の業績や地域金融機関としての取り組みなどについてご紹介しております。ぜひご一読いただき、当社に対するご理解の一助としていただければ幸いです。

当社は本年4月より中期経営計画「Road to 10」をスタートさせております。本年からの3年間で「持続的成長に向けた新たな挑戦の期間」と位置づけ、お取引先数の拡大とメイン取引の推進により、質・量の両面で収益基盤を強化してまいります。

これからも、経営理念であります「地域共栄」の精神で地域のお客さまとともに発展していくことを目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月



取締役社長

**高木 繁雄**

(北陸銀行 頭取)

取締役副社長

**堰八 義博**

(北海道銀行 頭取)

■ **経営理念** 「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

**地域共栄** ▶ 社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

**公正堅実** ▶ 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

**進取創造** ▶ 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

## 営業の概況

## ■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位：億円)

	22年9月期	前中間期比	21年9月期
	経常収益	1,092	△50
連結粗利益	837	△24	862
資金利益	649	△3	653
役務取引等利益	136	△5	142
特定取引利益	6	△2	8
その他業務利益	44	△13	58
営業経費	539	9	529
コア業務純益	302	△47	350
業務純益※	333	△37	371
不良債権処理額	100	△91	191
経常利益	180	47	133
中間純利益	100	43	57
自己資本比率	11.39%	0.48%	10.91%

※ 一般貸倒引当金繰入前

## ■ 北陸銀行

(単位：億円)

	北陸銀行		21年9月期
	22年9月期	前中間期比	
	経常収益	550	
コア業務粗利益	441	△12	453
経費(臨時処理分を除く)	265	7	258
コア業務純益	175	△19	195
与信費用	29	△40	70
経常利益	121	23	98
中間純利益	72	△3	75
自己資本比率	11.27%	0.71%	10.56%

## ■ 北海道銀行

(単位：億円)

	北海道銀行		21年9月期
	22年9月期	前中間期比	
	経常収益	448	
コア業務粗利益	319	△23	342
経費	218	5	213
コア業務純益	100	△29	129
与信費用	53	△44	97
経常利益	66	23	43
中間純利益	39	1	38
自己資本比率	10.68%	0.38%	10.30%

当社における22年9月期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比50億円減少し1,092億円、連結経常利益は同47億円増加し180億円、連結中間純利益は同43億円増加し100億円となりました。

市場金利の低下につれ貸出金利が引き続き弱含みで推移しており、外国為替売買益の減少も加わり、経常収益は減少いたしました。営業人員の強化や、平成23年度更新予定の基幹システムの開発費用により経費は増加したものの、不良債権処理額の減少等もあり経常利益は増加しました。

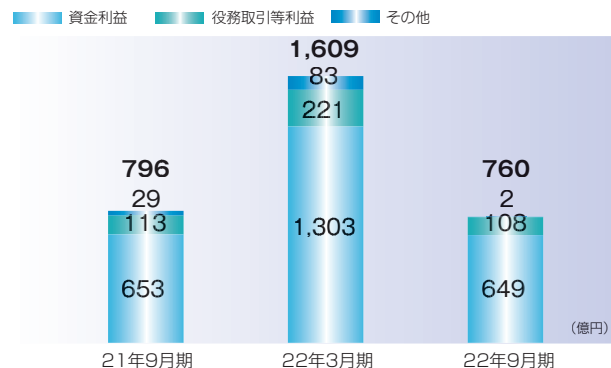
連結自己資本比率は、利益の着実な積み上げにより前中間期末比0.48%上昇し、11.39%となりました。

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただきます、期末一括配当1株あたり3円50銭を予定しております。

なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

## 損益の状況

### ■ コア業務粗利益<2行合算>



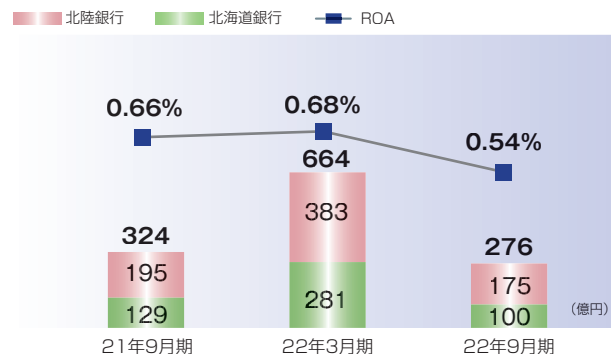
資金利益は、事業性の資金需要が引き続き弱い中、貸出金残高の減少と、金利の低下による利ざやの縮小により前中間期比4億円減少し649億円となりました。

役員取引等利益は、為替手数料の減収と、住宅ローン推進によるローン保険料・保証料支払の増加を主な要因として前中間期比5億円減少し、108億円となりました。

その他においては、実体経済低迷の影響を受け外国為替売買益が減少したことなどにより、前中間期比26億円減少し2億円となりました。

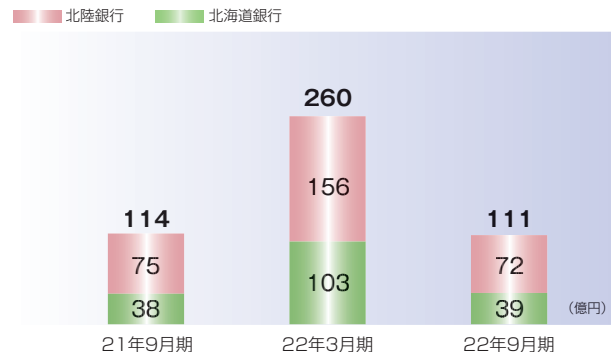
この結果、コア業務粗利益は前中間期比35億円減少し、760億円となりました。

### ■ コア業務純益<2行合算>



コア業務純益は、前中間期比48億円減の276億円となりました。コア業務粗利益が減益となったことに加え、営業人員増強による人件費の増加や、基幹システム更新に向けた開発費用が増加していることによるものです。

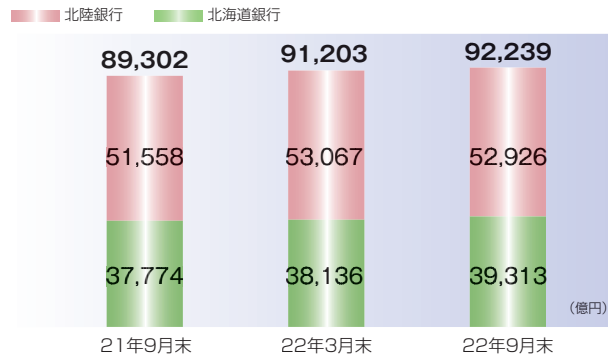
### ■ 純利益<2行合算>



中間純利益は、前中間期比2億円減益の111億円となりました。これは、コア業務純益が減少する一方で、企業再生支援の結果などにより不良債権処理にかかる与信費用が大幅に減少したことなどによるものです。

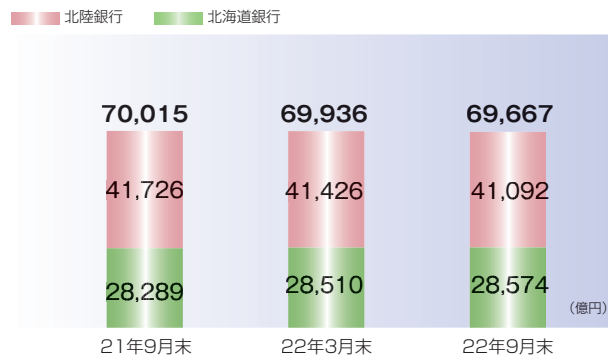
## 預金・貸出金の状況

## ■ 預金(含む譲渡性預金)＜2行合算＞



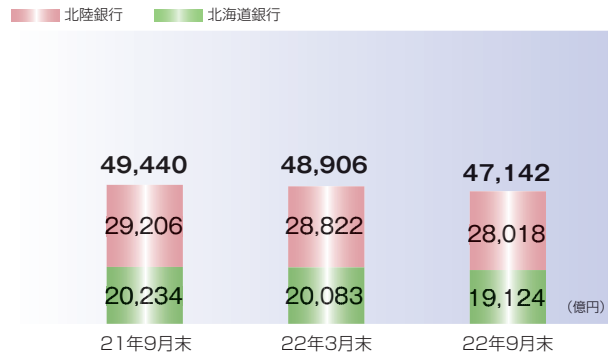
個人のお客さまを主体に、預金は引き続き増勢基調であり、22年3月末比1,036億円増加の9兆2,239億円となりました。

## ■ 貸出金＜2行合算＞



個人ローンは引き続き残高が増加しているものの、長引く景気の低迷により事業性の資金需要が回復せず、貸出金は22年3月末比269億円減少の6兆9,667億円となりました。

## ■ 中小企業等貸出残高＜2行合算＞

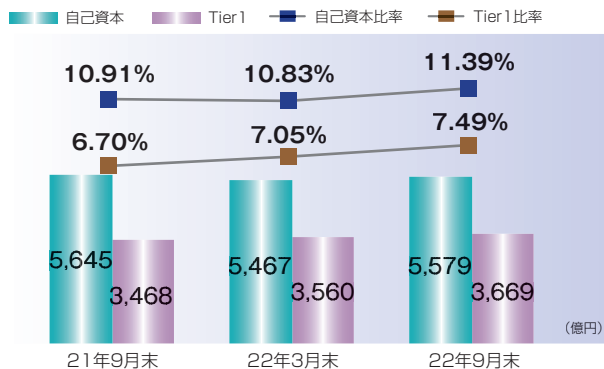


中小企業等貸出残高は、22年3月末比1,763億円減少し、4兆7,142億円となりました。

円滑な地域金融への取り組みを重要な役割と捉え、積極的に取り組んでおりますが、事業性資金ニーズの伸び悩みから貸出残高は減少しております。

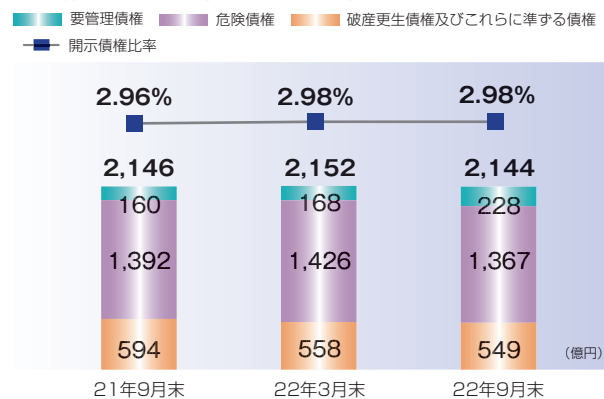
## 健全性の指標

## ■ 自己資本比率&lt;FG連結&gt;



財務の健全性を示す自己資本比率は、22年3月末比0.56%上昇し11.39%となりました。利益の積み上げにより内部留保が増加したことでTier1は22年3月末比109億円増加し3,669億円、自己資本は111億円増加し5,579億円となりました。

## ■ 金融再生法開示債権&lt;2行合算&gt;



景気の低迷が長引く中、金融再生法開示債権は22年3月末比8億円減少し、2,144億円となりました。開示債権比率は2.98%と引き続き低位に推移しております。

## ■ 格付

日本格付研究所  
JCR



格付投資情報センター  
R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

平成22年3月、JCRは当社・子会社の格付を従前の「A-」から「A(シングルAフラット)」に引き上げました。R&Iからは、「A」の格付をすでに取得しており、信用力は高いとの評価を得ております。

銀行持株会社



- 資本金 708億9,500万円
- 発行済株式 普通株式 1,391,630,146株  
第1回第5種優先株式 107,432,000株

## ■ 取締役・監査役の役職および氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	高木 繁雄	取締役 庵 栄伸	
取締役副社長	堰八 義博	取締役 大島 雄次	
取締役	川合 哲	常勤監査役 松本 雅登	
取締役	笹原 晶博	監査役 南 義弘	
取締役	岩崎 民憲	監査役 石黒 靖尋	
取締役	木谷 哲也	監査役 林 則清	

- 従業員の数 専任者12名、兼務者43名、計55名

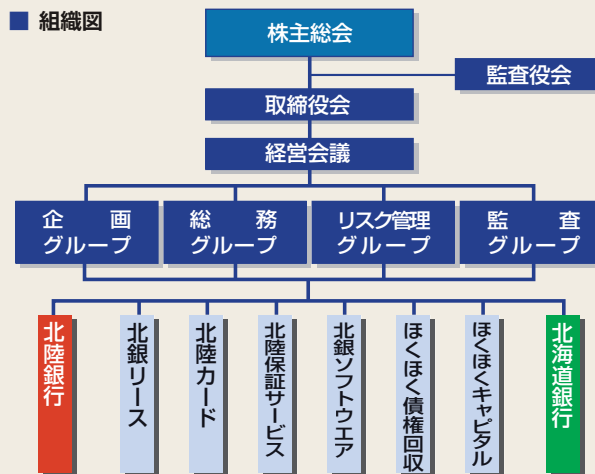
- 設立日 平成15年9月26日

## ■ 各組織の構成および役割等

- 取締役会** グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。
- 監査役会** 監査の方針、監査役の職務の執行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行を監査します。
- 経営会議** 当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

- 名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
- 本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
- 業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理  
2. 上記経営管理業務に付帯または関連する業務

## ■ 組織図



## ■ グループ各社の内容

- (株) 北陸銀行 ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っております。
- (株) 北海道銀行
- 北銀リース (株) リース業務、代金回収業務などを行っております。
- (株) 北陸カード JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っております。
- 北陸保証サービス (株) 住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っております。
- 北銀ソフトウェア (株) コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っております。
- ほくほく債権回収 (株) 銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っております。
- ほくほくキャピタル (株) 株式公開の立案・アドバイザ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っております。



■ グループの広域ネットワーク

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献してまいります。

地域からお預かりしたご預金は、地域のお客さまにご融資し、地域経済発展に貢献しております。

北陸3県	148カ店	3大都市	17カ店
富山県	90カ店	東京・神奈川	10カ店
石川県	36カ店	近畿・名古屋	7カ店
福井県	22カ店		
北海道	156カ店		
その他	4カ店		
	(仙台・新潟・長野・高山)		

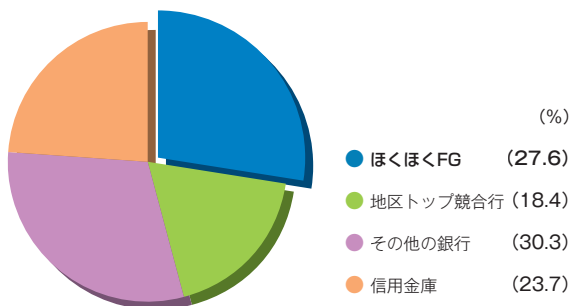


海外

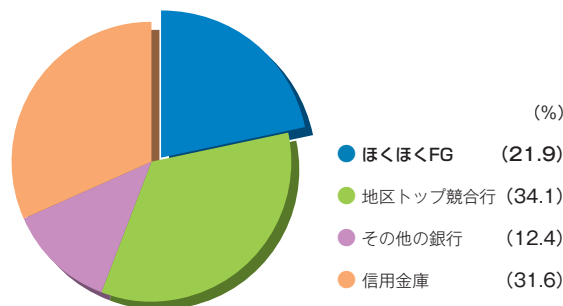
- ・上海駐在員事務所
- ・瀋陽駐在員事務所
- ・シンガポール駐在員事務所
- ・ニューヨーク駐在員事務所
- ・ユジノサハリンスク駐在員事務所
- ・ロンドン駐在員事務所

(平成22年9月末)

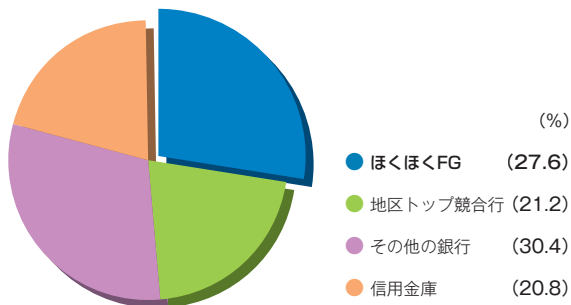
■ 北陸三県内預金シェア（銀行+信用金庫）



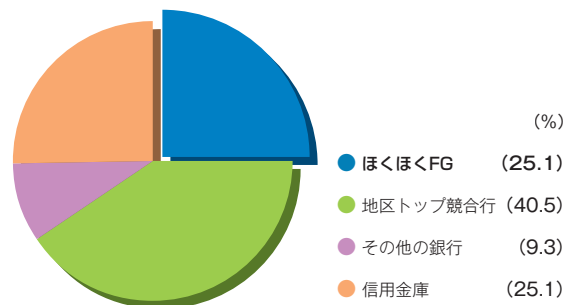
■ 北海道内預金シェア（銀行+信用金庫）



■ 北陸三県内貸出金シェア（銀行+信用金庫）



■ 北海道内貸出金シェア（銀行+信用金庫）

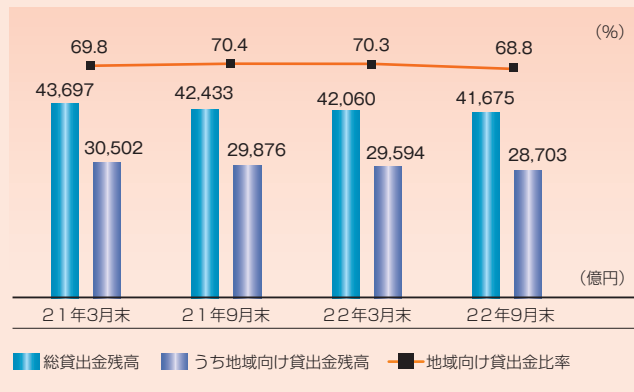


※平成22年3月末現在 ※北陸財務局「北陸地域主要経済指標」、北海道財務局「北海道金融月報」、日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」より当社にて作成。  
 ※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

## 貸出金の状況

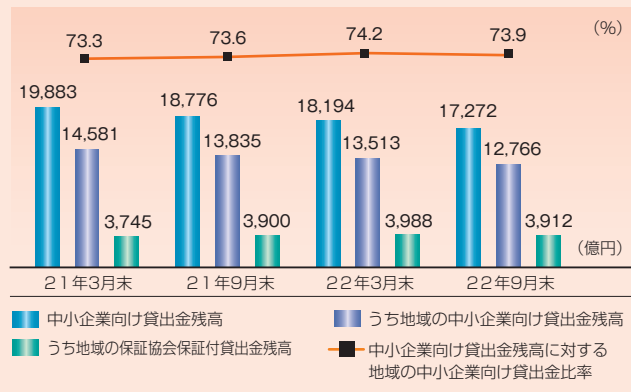
## ■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち、地域向け貸出金は2兆8,703億円となり、地域向け貸出金比率は68.8%となっております。



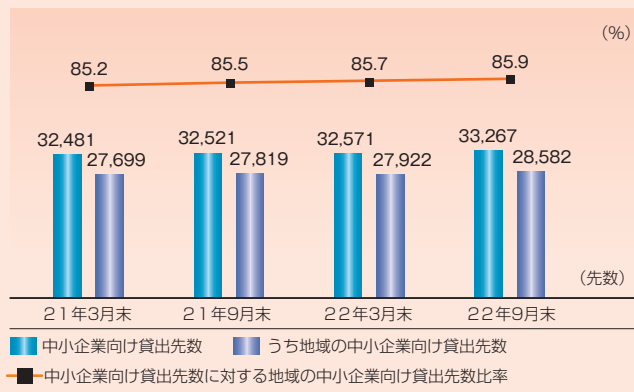
## ■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は1兆7,272億円で、地域の中小企業向け貸出金は1兆2,766億円と中小企業向け貸出金の73.9%を占めております。

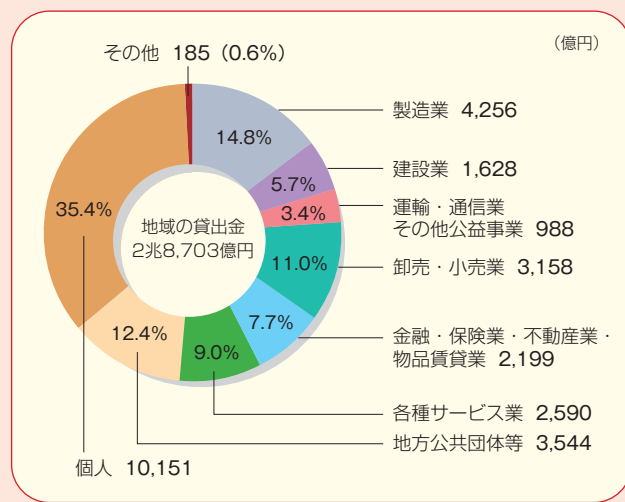


## ■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は33,267先で、そのうち地域の中小企業向け貸出先数は28,582先と85.9%を占めております。



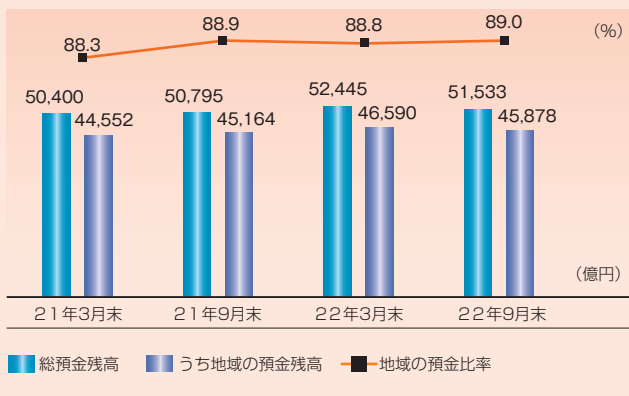
## ■ 地域の業種別貸出残高(平成22年9月末)



## 預金の状況

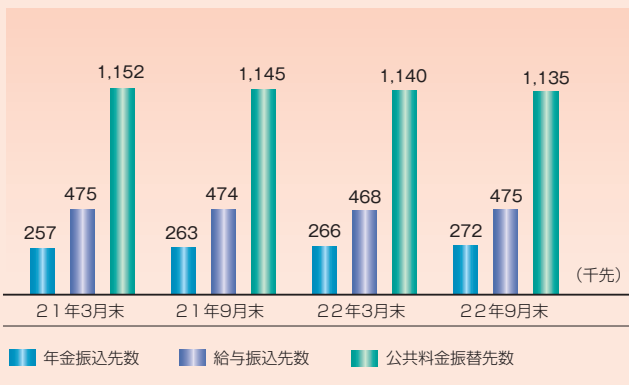
### ■ 地域の預金の状況

総預金は5兆1,533億円、うち4兆5,878億円が地域の預金で、総預金の89.0%を占めております。



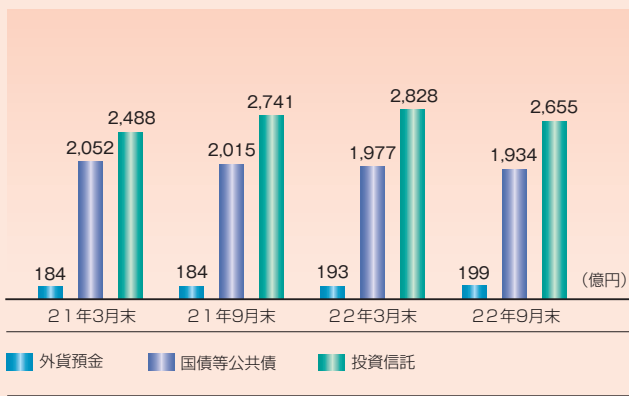
### ■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は27万2千先、給与振込は47万5千先、公共料金の自動口座振替は113万5千先と多くのお客さまに家計のメイン口座として北陸銀行をご利用いただいております。



### ■ 投資型金融商品の状況

22年9月末の個人のお客さまに対する投資型金融商品の合計残高は4,788億円となりました。今後も、商品ラインナップの充実および販売体制の整備に努めてまいります。



### ● 多様化する資産運用ニーズへの取り組み



北陸銀行では、お客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするために幅広く商品を取り揃えております。お客さまの運用資産や投資の考え方を踏まえ、丁寧に分かりやすい商品

説明を心がけております。また、ファイナンシャルプランナー資格者を営業店へ配置し、お客さまのご要望に適切にお応えするよう努めております。

このほかにも、商品内容や現状の運用環境などを説明する「資産運用セミナー」を各地で開催しております。

## 地域経済活性化のために

## ◎創業・新事業支援

北陸銀行では、大学が所有する新技術と地域企業のニーズとのマッチングに取り組み、共同研究による新事業開発をサポートしております。また、創業・新事業支援融資も積極的に推進しております。

## ◎成長基盤強化に向けた取り組み

成長基盤強化に向けた日本銀行の新貸出制度を活用した「ほくぎん成長基盤応援ファンド」(ファンド総額1,000億円)の取り扱いを8月から開始いたしました。環境・エネルギー事業、医療・介護・健康関連事業などの成長分野を対象に積極的に資金供給を展開し、地域経済の活性化とお取引先の中長期的な成長を支援しております。

## ◎経営改善支援

経営改善支援室が、これまで培ってきたノウハウを活用し営業店への支援を強化するとともに、再建計画策定支援、中小企業協議会との連携等により、お取引先企業の事業再生支援の強化を図っております。

## ◎事業承継支援

専門知識を有する本部プライベートバンキング(PB)チーム、M&Aチームおよび営業店PBデスクが中心となり、きめ細やかな訪問提案活動を行い、地域企業のスムーズな事業承継を支援しております。また、外部講師や金融サービス室の専任者により事業承継やM&Aに関するセミナーを開催しております。

## ◎海外進出支援

北陸銀行では、外国政府機関や有力外国銀行と連携し、地域のお取引先企業の海外進出を積極的にサポートしており

ます。また、中国・ASEAN地域における経済動向や投資環境など経済事情に応じたテーマによるグローバルセミナーを北陸三県を中心に開催しております。

## ◎ネットワーク機能を活用した情報提供

グループの広域店舗網や海外ネットワーク機能を活用した各種情報の提供に努めております。

また、お取引先企業に対してビジネス・サミットをはじめとする商談会等を開催し、ビジネスマッチングに積極的に取り組んでおります。



これまでの取り組みとしましては、6月10日に、大垣共立銀行と共同で食と環境をテーマにした商談会「ビジネス・サミット2010」を名古屋市で開催いたしました。当日は134の企業・団体が出展し、北陸地区からは31社がブースを構え、買付サイドでは東海地区を中心に81社が参加しました。約2,600人が来場し、1,100件の商談が行われました。

また、7月16日に中国・大連市で八十二銀行と合同で、企業交流会を開催し、両行のお取引先から製造業など33社が参加いたしました。

9月16、17の両日、中国・上海市において、北海道銀行と地方銀行・地方自治体26団体と合同での「ものづくり商談会@上海2010」を開催いたしました。上海での商談会は今年で6回目となります。また、10月28日は富山市で、29日には金沢市で「中国バイヤーズ・サミット」を開催しました。両日とも地域のお取引先企業が、上海、大連市の食品関連のバイヤーと活発な商談を行いました。これからも北陸銀行では対中ビジネスの橋渡しを積極的に行ってまいります。

## TOPICS

## 【地域社会との連携】

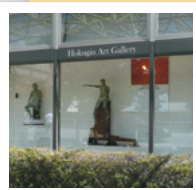
## 金沢美術工芸大学と「連携協力に関する協定」を締結

6月18日に金沢美術工芸大学と「連携協力に関する協定」を締結いたしました。美術系の大学と連携するのは初めてですが、金沢美大が保有する美術・工芸分野のノウハウを企業の商品デザインに活用するなど地域企業のニーズとのマッチングを図ってまいります。同日、金沢中央支店と小立野支店のアートギャラリーにおいて、金沢美大大学院生による作品展示を開始いたしました。



## 五福支店に「ほくぎんアートギャラリー」を設置

9月14日、五福支店に当行10番目のアートギャラリーを新設いたしました。照明には環境に配慮したLEDを使用しており、「包括的連携協力」先である富山大学芸術文化学部関連の作品を中心に展示していきます。



## 【新装開店】

## 金沢問屋町支店新築オープン

10月25日、金沢問屋町支店を移転し、新築オープンいたしました。新店舗は瓦屋根、漆喰壁などを使用し金沢のイメージにマッチした外観となっております。また、石川県産杉をフローリングに、



## 【環境への取り組み】

## 本店に屋上緑化システムを設置

6月19日、本店営業部屋上に無灌水屋上緑化システムを設置いたしました。北陸銀行では、地球温暖化防止の観点から太陽光パネルの採用やハイブリッド車の導入、軽自動車への入替、エコドライブの推進などCO<sub>2</sub>排出削減に努めてまいりました。さらなる取り組みとして環境対応の緑化基盤を使用した本緑化システムを設置いたしました。



## 「ほくぎんエコ私募債」取扱開始

6月22日から環境配慮型企業に対する私募債「ほくぎんエコ私募債」の取り扱いを開始しました。北陸銀行が独自に制作した環境評価シートにより、企業の環境配慮への取り組みを3段階で評価し、発行金利を優遇する商品です。環境配慮に取り組んでいる中堅・中小企業を金融面から支援し、低炭素社会の実現に貢献していきます。

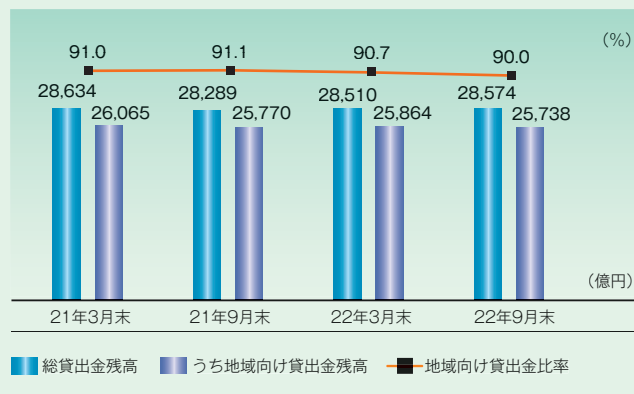
能登産珪藻土を壁面に使用するなど地産地消を図り、瓦一体型太陽パネルの使用、瓦のリサイクル材による外構舗装、そしてLEDによる大型看板の設置などエコロジー対応にも心がけています。出入り口のバリアフリー化、ゆとりあるループ駐車場など来店しやすい店舗となっております。

壁面に設置した大型「ほくぎんアートギャラリー」では、金沢美術工芸大学関連の展示を行っています。

## 貸出金の状況

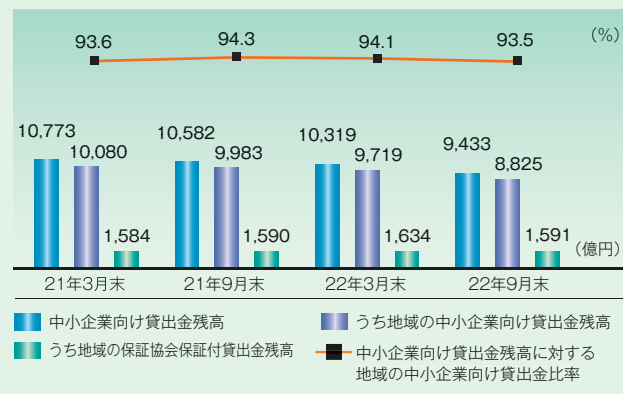
## ■ 地域向け貸出金の状況

総貸出金のうち地域向け貸出金は、2兆5,738億円となりました。地域向け比率は90.0%と引き続き高い水準となっております。



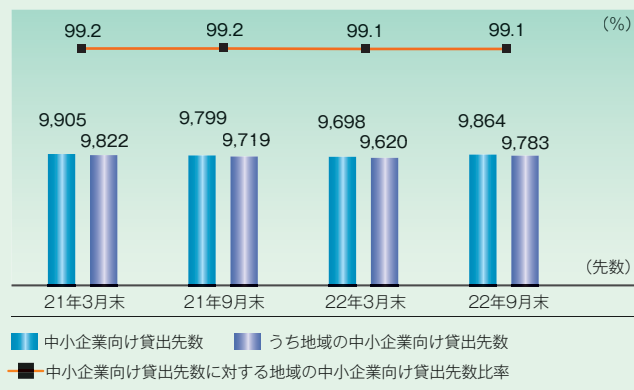
## ■ 中小企業向け貸出金の状況

中小企業向け貸出金は9,433億円で、地域の中小企業向け貸出金は8,825億円となっており、地域向け比率は93.5%と地域のお客さまの資金需要に積極的にお応えしています。

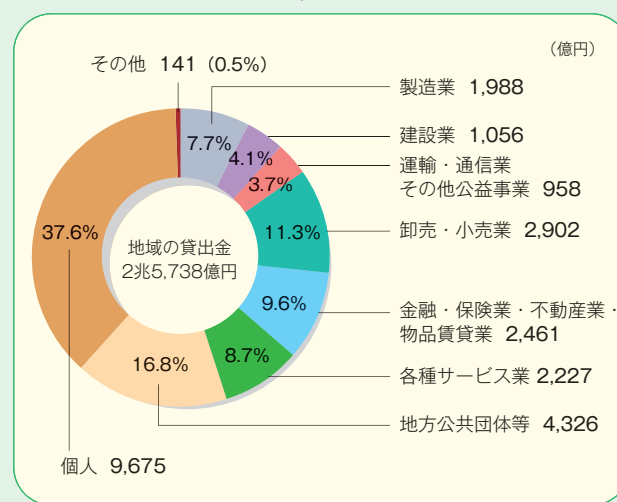


## ■ 中小企業向け貸出先数の状況

中小企業向け貸出先数は9,864先で、そのうち地域の中小企業向けは9,783先となっております。



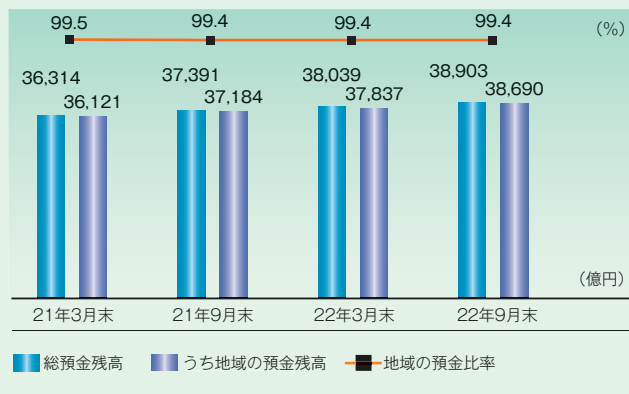
## ■ 地域の業種別貸出残高(平成22年9月末)



## 預金の状況

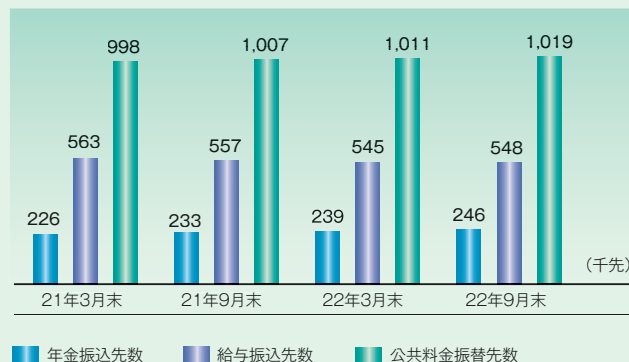
### ■ 地域の預金の状況

総預金は3兆8,903億円となりました。うち3兆8,690億円が地域の預金で、総預金の99.4%を占めております。



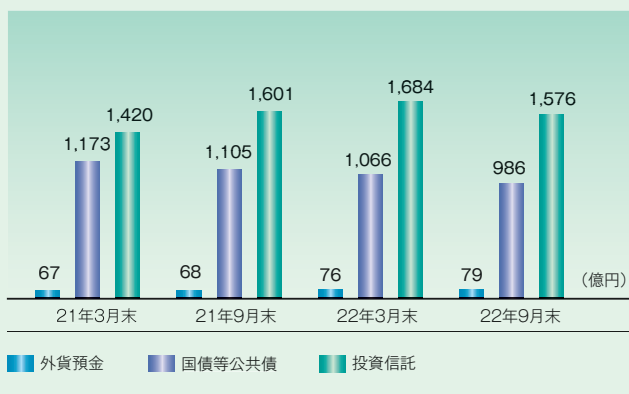
### ■ 決済サービスのご利用状況

年金振込は24万6千先、給与振込は54万8千先、公共料金の自動振替は101万9千先と多くのお客さまに家計のメイン口座としてご利用いただいております。



### ■ 投資型金融商品の状況

個人のお客さまに対する投資型金融商品の残高は、22年9月末で2,642億円となりました。



### ● 「ジャンボ宝くじ付き定期預金」発売継続!

「夢がついてくる!」でお馴染みの、北海道銀行「ジャンボ宝くじ付き定期預金」は、平成15年の取扱開始以来、好評を博しています。

「平成21年第573回『年末ジャンボ宝くじ』」でも、1等前後賞3億円の高額当せんが出ており、「3年連続の高額当せん」の実績はマスコミの注目を集めております。

現在では当行の看板商品と言えるこの定期預金は、たくさんのお客さまに親しまれております。



## 地域経済活性化のために

## ◎農業事業者向け支援

## 農業事業者向け融資商品「アグリ・チャレンジ」取扱開始

4月27日、農業事業者向けの融資新商品「アグリ・チャレンジ」の取り扱いを開始いたしました。営農計画や収穫状況などを銀行にご報告いただくことで、機動的な運転資金や、最長20年の超長期の設備資金にも対応しているなど、ご利用いただきやすい商品内容としております。

また、北海道農業の発展に寄与できる人材を育成すべく日本政策金融公庫が認定する「農業経営アドバイザー試験」を当行職員も積極的に受験しており、合格者は全国の銀行の中で最多の15人（平成22年9月現在、除く日本政策金融公庫）となりました。

## ◎ビジネスマッチングの取り組み

## 「北海道の『食』特別商談会」の開催

6月23日、「北海道の『食』特別商談会」in函館を開催いたしました。

本商談会は、同時開催の「第6回はこだて水産食品展示フェア」とタイアップし、同フェアの「展示商談」とともに、



面談形式での「個別商談」を実施いたしました。

当日は、同フェア出展企業43社のうち22社が「個別商談」に参加し、本州有力スーパー主体の11社12名のバイヤーと

100件の商談が行われました。

また、9月14日には、札幌において第7回「北海道の『食』特別商談会」を開催いたしました。

本商談会も、「個別商談」と「展示商談」の2本立てで

開催し、出展企業42社が参加し、道外の大手百貨店のほか高級スーパー、通販等32社41名のバイヤーと350件の商談が行われました。



## ◎海外進出支援

## 極東ロシアビジネスフォーラム2010

5月13日、札幌において、サハリン、ハバロフスク、ウラジオストク等極東ロシア地域における経済ビジネス情報の提供と交流の機会として、「極東ロシアビジネスフォーラム2010」を開催いたしました。

農業・製材業、建設業など業種別のロシア企業のブース展示の他、サハリン州政府による道内企業のサハリン進出に関してプレゼンテーションが実施されました。また、道銀地域戦略顧問の寺島実郎氏による基調講演も行われ、フォーラムを通じてサハリンプロジェクト完成以後の地元経済の方向性や極東ロシアの経済動向ならびに企業ニーズ等について、お客さまにご理解を深めていただくことができました。



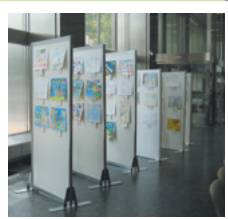


## TOPICS

## 【次世代育成支援】

## 夏休み企画「北海道銀行×JAL 夢の翼～北海道の未来の街～」絵画コンテスト

8月3日、日本航空との共同企画で“北海道の未来の街”をテーマとした絵画コンテストを実施いたしました。ご応募いただいた120点の全作品は本店ロビーでパネル展示を行い、訪れた多くのお客さまにご覧いただきました。



また、最優秀賞受賞者の皆さまには8月13日～14日、「JALの体験学習『学校では受けられない授業』」に親子ペアでご招待いたしました。



## 夏休み 親子で銀行体験

8月2日から17日までの12日間、「夏休み 親子で銀行体験」を本店で開催いたしました。

小学生を対象に、「1億円体験」や「札勘体験」など、夏休みの思い出作りや自由研究の題材に成りうる「銀行体験メニュー」を多数ご用意し、「お金」について学んでいただきました。

のべ792名（うち小学生466名）と予想を上回るたくさんのお客さまのご参加をいただきました。

## 【地域振興活動】

北海道銀行×  
エスポラーダ北海道  
「親子のフットサル教室」

9月11日、旭川において、北海道銀行がオフィシャルパートナーになっている「エスポラーダ北海道」とのタイアップで「親子の



## 【環境保全活動】

## ～道銀フォレスト運動～「道銀の森」第2回植樹を実施

9月25日、当別町の「道銀の森」において第2回植樹を実施いたしました。

この活動は「道銀フォレスト運動」の一環で「笑顔あふれる未来のために、この恵みを次の世代に引き継いでいく」ため、より多くの職員が森づくりに関わることを基本コンセプトとしております。当日は役職員や家族などのボランティア総勢270名が参加し、1ヘクタールの土地に2,000本の植樹を行いました。

また、各支店では地域で行われている植樹活動に積極的に参加しております。

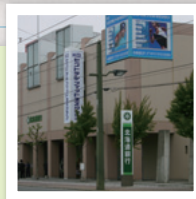


## 【移転オープン】

## 山鼻支店の移転開店

6月7日、「石山通出張所」をお客さまの利便性向上のため、札幌市中央区山鼻地区の商業施設「プロム山鼻」1階に移転いたしました。

お客さまに、より身近に「北海道銀行」をご利用いただけるよう、店内には「相談ブース」・「全自動貸金庫」を設置し、魅力ある店舗にしております。



フットサル教室」を開催し、40組の親子に参加いただきました。

当日は、エスポラーダ北海道の選手やコーチが直接指導を行ったほか、親子対抗ゲーム、選手との記念撮影会なども開催されました。今後、道内各地での開催を予定しています。

## 中間貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	7,756	流動負債	100
現金及び預金	7,590	未払配当金	70
前払費用	3	未払費用	9
未収還付法人税等	162	未払法人税等	11
固定資産	227,873	未払消費税等	6
有形固定資産	1	預り金	3
器具及び備品	1	その他	0
無形固定資産	1	固定負債	128
商標権	0	役員退職慰労引当金	128
ソフトウェア	0	負債の部合計	229
投資その他の資産	227,870	純資産の部	
関係会社株式	227,870	資本金	70,895
その他	0	資本剰余金	142,087
		資本準備金	82,034
		その他資本剰余金	60,052
		利益剰余金	22,976
		その他利益剰余金	22,976
		繰越利益剰余金	22,976
		自己株式	△558
		株主資本合計	235,400
		純資産の部合計	235,400
資産の部合計	235,629	負債及び純資産の部合計	235,629

## 中間損益計算書 (平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(単位:百万円)

営業収益	1,177
関係会社受取配当金	808
関係会社受入手数料	369
営業費用	354
販売費及び一般管理費	354
営業利益	823
営業外収益	242
関係会社貸付金利息	209
その他の営業外収益	33
営業外費用	257
社債利息	208
事務委託費	48
その他の営業外費用	0
経常利益	808
税引前中間純利益	808
法人税、住民税及び事業税	0
法人税等調整額	42
法人税等合計	43
中間純利益	764

## 中間株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			
平成22年3月31日残高	70,895	82,034	60,053	142,088	27,881	27,881	△554	240,310	240,310
当中間期変動額									
剰余金の配当	-	-	-	-	△5,669	△5,669	-	△5,669	△5,669
中間純利益	-	-	-	-	764	764	-	764	764
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	△6	△6	△6
自己株式の処分	-	-	△0	△0	-	-	2	1	1
当中間期変動額合計	-	-	△0	△0	△4,904	△4,904	△4	△4,909	△4,909
平成22年9月30日残高	70,895	82,034	60,052	142,087	22,976	22,976	△558	235,400	235,400

中間連結貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	397,657	預金	9,027,220
コールローン及び買入手形	93,548	譲渡性預金	170,811
買入金銭債権	118,634	コールマネー及び売渡手形	50,000
特定取引資産	11,050	特定取引負債	3,620
金銭の信託	4,421	借用金	238,947
有価証券	2,212,399	外国為替	123
貸出金	6,953,947	社債	39,500
外国為替	9,657	その他負債	150,568
その他資産	200,689	退職給付引当金	8,837
有形固定資産	112,545	役員退職慰労引当金	473
無形固定資産	37,953	偶発損失引当金	2,354
繰延税金資産	62,169	睡眠預金払戻損失引当金	1,959
支払承諾見返	111,830	再評価に係る繰延税金負債	8,905
貸倒引当金	△84,765	支払承諾	111,830
		負債の部合計	9,815,152
		純資産の部	
		資本金	70,895
		資本剰余金	153,188
		利益剰余金	174,603
		自己株式	△593
		株主資本合計	398,093
		その他有価証券評価差額金	18,954
		繰延ヘッジ損益	△0
		土地再評価差額金	8,689
		評価・換算差額等合計	27,644
		少数株主持分	850
		純資産の部合計	426,588
資産の部合計	10,241,740	負債及び純資産の部合計	10,241,740

中間連結損益計算書 (平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(単位:百万円)

経常収益	109,285
資金運用収益	74,327
(うち貸出金利息)	(61,889)
(うち有価証券利息配当金)	(10,997)
役務取引等収益	19,924
特定取引収益	611
その他業務収益	12,163
その他経常収益	2,260
経常費用	91,220
資金調達費用	9,341
(うち預金利息)	(7,211)
役務取引等費用	6,227
その他業務費用	7,680
営業経費	53,900
その他経常費用	14,070
経常利益	18,064
特別利益	36
特別損失	579
税金等調整前中間純利益	17,522
法人税、住民税及び事業税	3,057
過年度法人税等戻入額	△51
法人税等調整額	4,364
法人税等合計	7,370
少数株主損益調整前中間純利益	10,151
少数株主利益	73
中間純利益	10,078

中間連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成22年3月31日残高	70,895	153,189	170,100	△589	393,595	9,180	△17	8,784	17,947	781	412,324
当中間期変動額											
剰余金の配当	-	-	△5,669	-	△5,669	-	-	-	-	-	△5,669
中間純利益	-	-	10,078	-	10,078	-	-	-	-	-	10,078
自己株式の取得	-	-	-	△6	△6	-	-	-	-	-	△6
自己株式の処分	-	△0	-	2	1	-	-	-	-	-	1
土地再評価差額金の取崩	-	-	94	-	94	-	-	-	-	-	94
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	9,773	17	△94	9,697	68	9,766
当中間期変動額合計	-	△0	4,502	△4	4,497	9,773	17	△94	9,697	68	14,264
平成22年9月30日残高	70,895	153,188	174,603	△593	398,093	18,954	△0	8,689	27,644	850	426,588

## 中間貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	307,003	預金	5,153,377
コールローン	41,033	譲渡性預金	139,226
買入金銭債権	118,550	コールマネー	50,000
特定取引資産	8,408	特定取引負債	3,620
有価証券	1,088,411	借入金	181,822
貸出金	4,109,229	外国為替	58
外国為替	4,345	その他負債	67,630
その他資産	70,572	退職給付引当金	1,676
有形固定資産	84,186	役員退職慰勞引当金	196
無形固定資産	5,755	偶発損失引当金	1,772
繰延税金資産	43,037	睡眠預金払戻損失引当金	1,232
支払承認見返	69,334	再評価に係る繰延税金負債	8,905
貸倒引当金	△43,192	支払承諾	69,334
		負債の部合計	5,678,854
		純資産の部	
		資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	50,351
		利益準備金	5,144
		その他利益剰余金	45,206
		繰越利益剰余金	45,206
		株主資本合計	205,759
		その他有価証券評価差額金	13,373
		繰延ヘッジ損益	△0
		土地再評価差額金	8,689
		評価・換算差額等合計	22,063
		純資産の部合計	227,822
資産の部合計	5,906,677	負債及び純資産の部合計	5,906,677

## 中間損益計算書

(平成22年4月1日～  
平成22年9月30日) (単位:百万円)

経常収益	55,053
資金運用収益	42,088
(うち貸出金利息)	(34,787)
(うち有価証券利息配当金)	(6,033)
役員取引等収益	10,198
特定取引収益	567
その他業務収益	690
その他経常収益	1,508
経常費用	42,898
資金調達費用	5,903
(うち預金利息)	(4,480)
役員取引等費用	3,517
その他業務費用	690
営業経費	27,646
その他経常費用	5,141
経常利益	12,155
特別利益	5
特別損失	452
税引前中間純利益	11,707
法人税、住民税及び事業税	43
過年度法人税等戻入額	△51
法人税等調整額	4,491
法人税等合計	4,484
中間純利益	7,223

## 中間株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計						
平成22年3月31日残高	140,409	14,998	14,998	5,144	37,888	43,033	198,441	7,611	△17	8,784	16,377	214,819
当中間期変動額												
中間純利益	-	-	-	-	7,223	7,223	7,223	-	-	-	-	7,223
土地再評価差額金の取崩	-	-	-	-	94	94	94	-	-	-	-	94
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	5,762	17	△94	5,685	5,685
当中間期変動額合計	-	-	-	-	7,317	7,317	7,317	5,762	17	△94	5,685	13,003
平成22年9月30日残高	140,409	14,998	14,998	5,144	45,206	50,351	205,759	13,373	△0	8,689	22,063	227,822

中間貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	90,434	預金	3,890,360
コールローン	52,514	譲渡性預金	40,984
商品有価証券	2,641	借入金	80,000
金銭の信託	4,421	外国為替	64
有価証券	1,115,754	社債	15,000
貸出金	2,857,473	その他負債	57,272
外国為替	5,311	退職給付引当金	6,825
その他資産	91,879	役員退職慰労引当金	129
有形固定資産	32,305	偶発損失引当金	581
無形固定資産	2,495	睡眠預金払戻損失引当金	726
繰延税金資産	19,384	支払承諾	30,550
支払承諾見返	30,550	負債の部合計	4,122,497
貸倒引当金	△24,977	純資産の部	
		資本金	93,524
		資本剰余金	16,795
		資本準備金	16,795
		利益剰余金	37,552
		利益準備金	4,503
		その他利益剰余金	33,048
		繰越利益剰余金	33,048
		株主資本合計	147,871
		その他有価証券評価差額金	9,821
		評価・換算差額等合計	9,821
		純資産の部合計	157,693
資産の部合計	4,280,190	負債及び純資産の部合計	4,280,190

中間損益計算書 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位:百万円)

経常収益	44,827
資金運用収益	32,176
(うち貸出金利息)	(26,932)
(うち有価証券利息配当金)	(5,071)
役員取引等収益	7,686
その他業務収益	4,151
その他経常収益	812
経常費用	38,129
資金調達費用	3,448
(うち預金利息)	(2,753)
役員取引等費用	3,520
その他業務費用	1,421
営業経費	23,032
その他経常費用	6,707
経常利益	6,697
特別利益	9
特別損失	118
税引前中間純利益	6,588
法人税、住民税及び事業税	2,552
法人税等調整額	61
法人税等合計	2,613
中間純利益	3,974

中間株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
平成22年3月31日残高	93,524	16,795	16,795	4,342	30,040	34,383	144,702	6,041	6,041	150,744
当中間期変動額										
剰余金の配当	-	-	-	161	△966	△805	△805	-	-	△805
中間純利益	-	-	-	-	3,974	3,974	3,974	-	-	3,974
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	3,779	3,779	3,779
当中間期変動額合計	-	-	-	161	3,008	3,169	3,169	3,779	3,779	6,949
平成22年9月30日残高	93,524	16,795	16,795	4,503	33,048	37,552	147,871	9,821	9,821	157,693

## 株式会社のご案内

決算期 毎年3月31日

定時株主総会の基準日 毎年3月31日

定時株主総会 毎年6月

剰余金の配当の基準日 期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

1単元の株式数 1,000株

証券コード 8377

上場金融商品取引所 東京証券取引所(第一部)  
(普通株式) および札幌証券取引所

公告方法 電子公告により当社ホームページに  
掲載いたします。  
ただし、電子公告による公告をすることが  
できない場合は、  
日本経済新聞に掲載します。  
※公告掲載の当社ホームページアドレス  
(決算公告を含む)  
(<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>)

株主名簿管理人・ 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

## 株式に関する諸手続きについて

### ① 普通株式をご所有の株主さま

- 証券会社の口座に記録されている株式  
住所変更等の各種お届け出につきましては、お取引のある証券会社が窓口になります。
- 「特別口座」に記録されている株式  
「特別口座」に記録された株式に関する振替請求や、住所変更等の各種お届け出につきましては、みずほ信託銀行の本支店および みずほインベスターズ証券の本支店が窓口になります。

### ② 優先株式をご所有の株主さま

みずほ信託銀行の本支店 および みずほインベスターズ証券の本支店において各種ご請求・お届け出を承っております。

## お問合せ先・郵便物の送付先

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル **0120-288-324**

## ◎ 本郵便物の宛先(ご住所)をご確認ください

次のようなケースにより郵便物が複数届いていませんか？

- ▶ (例1) ○○市○○町 1番地6 ↔ ○○市○○町 1-6
- (例2) 市町村合併などで住居表示が変更
- (例3) お引越しにより、旧住所あてにも郵送となっている
- (例4) ご実家など、現住所以外のところにも郵送となっている

## ▶ ご住所表記の統一や、ご住所の変更手続きをお願いします。

● 上記のみずほ信託銀行株式会社フリーダイヤルまたはお取引の証券会社へお問い合わせください。

ほくほくフィナンシャルグループのホームページでは、株主・投資家の皆さま向けに最新のニュースリリースや財務情報、IR情報などを掲載しております。

**財務情報**

最新の決算短信、有価証券報告書などを掲載しています。

**IR情報**

会社説明会資料やIRカレンダーを掲載しています。

**株式関連情報**

株主総会や株式事務のご案内を掲載しています。

**個人投資家のみなさまへ**

個人投資家の皆さまに当社グループの業績や取り組みについてご紹介しております。

**ニュースリリース**

最新のニュースリリースを掲載。「ニュースリリース配信サービス」もご利用いただけます。

**北陸銀行**

2010年10月よりワイドサイズにリニューアルし、さらに「見やすく」「使いやすい」ホームページとなりました。これを記念して、北陸銀行ホームページへアクセスいただいた方に「特製パソコン用壁紙」をプレゼントしております。



<http://www.hokugin.co.jp/>



<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

**北海道銀行**

各種商品・サービス、セミナーのご案内、トピックスなどをタイムリーに掲載しています。また、定期預金、各種ローンの簡単なシミュレーションもご利用いただけます。



<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

**株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ**

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

**株式会社 北陸銀行**

**総合企画部広報グループ**

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

**株式会社 北海道銀行**

**経営企画部広報CSR室**

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel:011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>